

海外ビジネス拡大へ

沖繩和僑会 第1回総会 代表幹事に金城氏

海外でのビジネス展開を目指す経営者のネットワーク「沖繩和僑会」の第1回総会が9日、那覇市の海邦総研であった。

代表幹事に沖繩ヒューマンキャピタルの金城和光代表を選出したほか、事業計画などを承認した。母体組織・香港和僑会の筒井修会長の講演もあった。

和僑会は、国内外で活躍する日本人経営者らがネットワークを結び、中国を中心に海外でのビジネス拡大を目的に香港で発足。上海、深セン、

シンガポール、台湾、モンゴル、東京、大阪、名古屋などに会がある。

沖繩では3月に発足し、会員は26社。

沖繩和僑会の役員は10人で、副幹事にはインデックス沖繩の栗田智明社長、海邦総研の伊波貢経営企画部長が就いた。

事業計画では、月1回のセミナー開催や、10月には各地の和僑会が集うビジネス交流会への参加、ITや観光など各種専門分会の設置することなどを決めた。

金城代表幹事は「沖繩よりはるかに市場規模が大きい

海外に目を向けたい。部会活動を活性化し、各地との交流を深め、商品・サービスの販路を拡大したい」と話した。

講演で筒井氏は「2、3年後には世界に和僑ネットワークが広がる。経営者が学び、

助け合っていくことでビジネスが拡大できる」と同会の目的を説明。ビジネス成功の秘訣として「グローバル経済や時代の流れを見通せる大局観が必要だ」などと強調した。